

産科 婦人科 漢方
浮田医院
 だより



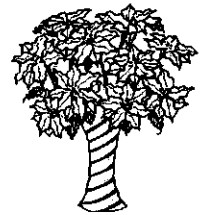
第 24 号
 発行所：産科 婦人科 漢方
 浮田医院
 〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
 TEL 0740-32-3751
 FAX 0740-32-3795
<http://www.zu.biglobe.ne.jp/~okita/>
 発行日：平成12年12月5日(火)
 発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ

腹診

I (24)



二〇世紀最後の月になりました。新しい時代のために十分に下準備をされた方々は、芽を出し、やがて葉を繁らせる時が来るでしょう。しかし、いい加減な生き方、やり方をしてきた人は淘汰されそうです。芽を出せるような日々の生活を送っていきましょう。

当院は、漢方薬中心の治療をできるだけ試みていますが、顆粒漢方薬や湯液漢方薬を飲めない方が意外と多いのが現状ですので、可能な限りの、錠剤漢方薬を取り揃えました。

今月は、「腹診」のことをお話ししましょう。お腹の診察(按摩)は紀元2世紀頃に作られた「難経」や紀元3世紀頃作られた「傷寒論」金匱要略」に記載されています。日本では、室町時代に多賀薬師別当法印見宜白行院や夢分斎らの鍼灸師を中心に発達、江戸時代には、後藤

良山、吉益東洞を中心が発達、明治、大正、昭和を経て、漢方薬を処方する時、腹診にウエイトを置く医師が多い。私自身、漢方薬を処方する場合、なくてはならない診察方法です。お腹に手を当て、皮膚、皮下、筋肉



梅ノ滝 楊

などの硬さ、柔らかさ、抵抗、圧痛、温かさ、冷たさ・などを丁寧診ていきます。この腹診で何がわかるのでしょうか。炎症がどこに、どの程度あるかや機能麻痺がどこに、どの程度あるか、局所に熱があるか寒があるか、血液の鬱滞、水(リンパ液)の鬱滞、気の鬱滞があるかないかなどがわかります。

では、実例をお示します。24歳女性、「しもやけ」(赤く盛上がる)で来院。小さい頃から、手足の指、耳たぶに、11月頃から3月頃まで、しもやけができる。両頬紅潮。脈は細、沈、遅。舌は暗紫色、無苔、舌先やや赤い。右胸脇苦満(肋骨下の抵抗圧痛、両側腹直筋薄く緊張し、両側の臍傍に抵抗圧痛、両側鼠経部は柔らかいが、圧痛を認め、腹部の中心は上腹部も下腹部も軟弱で弾力性に欠けていた。そこで、当帰四逆加呉茱萸生姜湯+桂枝茯苓丸を処方。

その年は、例年の半分で済み、次の年はほとんどなくなった。39歳男性、「微熱」「咳」「喉乾燥」で来院。顔色良好。脈は浮、細数。舌は淡紅色、薄白苔、乾。お腹は弾力性があり、





右胸脇苦満軽度、両側臍傍に抵抗圧痛軽度、心下部にも少し抵抗圧痛が見られた。そこで、桑菊飲を処方したところ、喉の乾燥感、微熱、咳など、3日で軽快した。

45歳女性、「リウマチ」「便秘」で来院。脈は浮、数、緊、舌は濃紅色、乾黄苔、舌下静脈怒脹し、足はよく冷える。お腹は柔らかいが、心下部に軽度抵抗、両側臍傍に抵抗圧痛を認めた。手指、手首、肘、膝の関節が腫脹し疼痛も強く、触れると熱く感じられた。そこで、桂枝芍薬知母湯+黄連解毒湯+石膏+蒼朮+防己+牡丹皮+薏苡仁を処方した。2週間後より徐々に痛みも腫れも引いている。

20歳女性、「アトピー性皮膚炎」で来院。小さい時から、アトピー性皮膚炎で、親子共々苦しんできた。ステロイド皮膚炎の副作用が恐くなり、3カ月前より、ステロイド外用薬を中止したところ、全身の皮膚が腫れ痒く、ジクジクと滲出液が出、特に、顔と首は赤く腫れ上がってきた。全身が寒く、食欲も低下している。夜は痒くて眠れない。尿は1日2〜3回。便は出ている。脈は数、細、緊。舌は暗紅色、乾白黄苔、舌下静脈は少し怒脹。お腹は緊張して、硬い



【院長】

が、皮膚も腹筋も薄く感じられる。胸脇苦満、心下痞硬、臍傍抵抗圧痛、臍上悸（臍の上に動悸を触れる）、ザラザラ、カサカサの皮膚で、熱感がある。発汗、食欲不振のために脱水を起こしていたので、点滴で水分補給をし、疲労回復と免疫増進作用のある十全大補湯去桂皮加附子を処方。ステロイド外用薬の上手な使用方法を十分に指導した。2週間後、寒気とジクジクした滲出液はなくなったが、赤みや痒みは不変。そこで、点滴と血府逐瘀湯+小陷胸湯+黄耆を処方。外用薬は2週間で4日使用してもらった。さらに2週間すると、随分症状も落ち着いたので、漢方薬のみにした。

二〇世紀は、当院を選んで頂きありがとうございます。

二十一世紀もよろしくお願ひいたします。

よいお年をお迎え下さい！



かぜ

クシャミ・鼻水・鼻づまりから始まるタイプ、喉の痛みから始まるタイプ、はきけから始まるタイプ、下痢から始まるタイプ、頭痛から始まるタイプ、筋肉痛・関節痛から始まるタイプ・・・がありますが、その方に応じた漢方薬を飲むと、不思議に早くかぜは治ります。一度お試し下さい。



慢性関節リウマチ

朝、手が強ばり、指・肩・肘などの関節が腫れたり、痛む方、ステロイドホルモンなどの治療の副作用でお困りの方、漢方薬も治療の一つとしてお考え下さい。“自然治癒力”を高め、病状の進行を押さえるのに役立つ事でしょう。この病気は、簡単なものではありませんから、ともすると挫けそうになるかも知れませんが、ご一緒に、体力、体質、病状などを考えていきましょう。



しもやけ

寒冷刺激や精神的ストレスを受けやすい子供や女性に多く見られます。指が紫色に腫れる方と少し赤く盛上る方がおられます。細い血管を広げたり、気持ちの動揺を少なくする作用のある漢方薬や漢方軟膏をお試し下さい。



当院の漢方治療



剤型について

- ・エキス漢方：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬を取り揃えています。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組合せた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも、湿める場合、【冷蔵庫】で保管して下さい。

漢方薬が湿りやすい場合、当院の【漢方専用容器】（無料）をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。

- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・等

エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（錠剤あるいは顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい（高齢の方、乳幼児の方もどうぞ）。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、【漢方薬】の決定をします。

錠剤漢方薬

皆様方のご希望に答えて、錠剤タイプの漢方薬を多数取り揃えました。お気軽にお申し出下さい。

神経照射（スーパーライザー）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用します。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・・・・・・

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種外用薬（漢方薬、アトピー専用、痒み止め、非ステロイド剤、ステロイド剤、抗生物質、抗真菌剤、保湿剤）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付剤及び軟膏、抗真菌剤、含嗽（うがい）薬）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
アトピーの方の【漢方入浴剤】お作りします。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】を書き、診察券を入れて下さい。

骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、結果は、直ぐお知らせします。

低用量ピル

従来のピルよりも副作用が減っていますが、きちんと服用して頂くため、問診表を作成しています。

足つぼ刺激、体脂肪測定

足のつぼを刺激は、10分で5kmの散歩に相当します。糖尿病、高脂血症、神経痛、腰痛、浮腫、高血圧、神経痛などの方、お試し下さい。

駐車場

- ・北-駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東-南駐車場(11台)（終日駐車可能）

外来診療時間

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------|----------------|------|------|----------------|------|---|
| 午前 | 一般外来 | 妊婦外来 助産婦相談室 | 漢方外来 | 漢方外来 | 妊婦外来 助産婦相談室 | 一般外来 | - |
| 夕方 | 更年期外来 | - | 不妊外来 | - | 漢方外来 | - | - |

午前の診察(月～土) 午前9:00～正午 午後の診察(月・水・金) 午後5:30～午後7:30

- ◇一般外来: 漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕
- 産科〔妊婦健診・妊娠中の方の不調〕
- 婦人科〔癌健診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕
- ◇漢方外来: 内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◇更年期外来: 更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕
- ◇不妊外来: 赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でもお越しになれます〕
- ◇妊婦外来: 妊婦健診・妊娠中の方:(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◇助産婦相談室: 妊婦相談、乳房相談、育児相談(午前8:40～午後12:30)(日程は掲示)

前期と中期－母親教室

日時: 12月12日、2月6日、4月17日(火)
 対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所: 当院1階 申込方法:【申込ノート】にご予約ください。
 皆様のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。ティータイム、ご期待ください。

後期－母親教室

日時: 12月5日、19日、1月16日、30日、2月6日、27日(火)
 対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

“ブッシュ・ド・ノエル”(Buche de Noël)と“ポロネーズ”をお楽しみ下さい。“ブッシュ・ド・ノエル”は“薪”(Buche)の形をしたクリスマスケーキで、キャラメルのパパロアの周囲にビスキュイを張りつけました。クッキーで作ったプレートにお名前を書いてプレゼントいたします。“ポロネーズ”はポーランドのパンで、クリスマスなどの行事の時に作られます。楽しいティータイムになりますように!



切迫流産

出血や下腹部痛で始まります。赤ちゃんの心臓が動いていれば、安静と漢方薬で経過観察しますが、腔炎、クラミジア感染、甲状腺機能異常などの原因のある場合、積極的に治療をします。もし、子宮外妊娠、頸管妊娠、胞状奇胎が見つかれば、妊娠を中絶して、処置や手術になります。子宮頸癌や子宮頸管無力症の場合、程度に応じて、治療も異なります。出血、下腹部痛、おりものの異常、破水感などに気付けば、診察を受けて下さい。腔式超音波、血液・尿・おりもの検査などにより診断し、治療します。



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付でご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。予約された方には、“母と子のてびき”をお渡しします。

LDRベット

同じベットで、陣痛期、分娩期、回復期を過ごせます。陣痛や分娩ポジションも色々選べます。

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、【受付】にお申し出下さい。

各種パンフレット

当院での治療の関するパンフレットをご用意しています。お気軽にお申し出ください。アトピー性皮膚炎、更年期障害、スーパーライザー、子宮内膜症、子宮筋腫、HRT、排卵の予知、腔炎……。

助産婦相談室

妊娠中、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。
 日時: 火・金曜日 午前8:40～午後12:30(無料、掲示)

赤ちゃん健診

1ヶ月健診、2ヶ月健診、3ヶ月健診をしています。
 日時: 毎週火曜日、午前11時～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった【手作り】料理です。素材、味付けメニューなど、絶えず工夫し研究しています。

保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。保険が使えなくなることがあります。